

津山高専技術交流プラザ企業に対する

「津山工業高等専門学校卒業生の在職に関するアンケート」まとめ

回答数 70社/93社 (75%)

①. 津山高専卒者のいる企業数・人数

58社 (83%) / 170社 366名

◎回答企業の内、約80%に高専卒業者が在職しており、1社平均約6名である。
在職者の1/3が中途入社者である。

区分	在職者数(名)	割合(%)
新卒	249	68
中途入社	107	29
その他(経営者など)	10	3

②. 津山高専卒者のいる県北企業数・人数

42社 (79%) / 153社 314名

◎県北企業53社の内、約80%に高専卒業者が在職しており、1社平均約7名である。
在職者の1/3が中途入社者である。

区分	在職者数(名)	割合(%)
新卒	208	66
中途入社	100	32
その他(経営者など)	6	2

③. 中途入社者(高専卒)の前勤務地と採用後勤務地

◎県北地域内での転職が多い。◎県外からの中途入社者について、大部分が県北地域の企業に転職している。

前勤務地	内訳(名)	採用後 県北(名)	採用後 県南(名)
県北	62	60	2
県南	14	10	4
県外	23	22	1
記載なし	8	8	0
合計	107	100	7

④. 中途入社者の状況について

- ・50代の人数比率が高く、30代及び40代は同程度である。
- ・高専卒後、何年経過して入社したかの経過年数分布では、人数比率について均等している。
- ・中途入社前の職場所在地では、県北地域が多い。
- ・役職では、課長職相当に就いている者が多い。
- ・採用につながった例として、ハローワークが半数を占め、次ぎに従業員・友人の紹介である。民間人材紹介事業者からの紹介では8件ある。

⑤. どんな機関や手段があればUターンしやすいと思われるか。

- ・企業説明会を開催する場を設ける。
- ・高専HPで求人情報を発信する。
- ・学校を通じてのマッチング制度や情報発信をする。

⑥. 新卒業者と中途入社者はどちらを優先して採用するか。

- ・優先順位を付けていない企業が多い(本人主義、職種に合えば良いなど)。
- ・即戦力を望む場合は中途入社者、将来を見据えた場合には新卒採用を望む傾向がある。

⑦. その他

- ・高専卒生の基礎能力に期待している声や中途採用したい等前向きな意見がみられた。
- ・ものづくりに興味のある人材を探せる場の構築や県外在住の卒業生へ積極的な企業の採用計画の情報発信を希望する声みられた。

以上